

<b>科目</b> B-6	<b>不妊・不育症患者に対する支援の実際</b>	<b>講師名</b>	<b>シンポジウム座長</b> 武蔵野大学看護学部教授 <b>坂上明子</b> シンポジスト 3 名 (下記参照)	<b>時間数</b>	<b>シンポジウム 90 分</b>
<p><b>〔科目目標〕</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 不妊症・不育症カップルの心理とニーズを理解することができる。</li> <li>2) 医療者及びピア・カウンセラーによる不妊症・不育症カップルへの支援の実際が理解できる。</li> <li>3) 里親・養子縁組制度を希望するカップルの心理とニーズを理解することができる。</li> <li>4) 里親・養子縁組を希望するカップルへの支援の実際が理解できる。</li> <li>5) さまざまな支援の実際を知り、自らの支援に活用する方法を考えることができる。</li> </ol>					
<p><b>〔内容〕シンポジウム（各 20 分間のシンポジスト講演と 30 分間の意見交換）</b>  <b>不妊症・不育症患者に対する支援の実際</b>          -不妊症、不育症の患者・カップルの不安や悩みに寄り添うには-</p> <p><b>座長：武蔵野大学看護学部教授 坂上明子氏</b>  <b>シンポジスト：湘南鎌倉医療大学看護学部 教授 森明子氏</b>  <b>アクロスジャパン代表 小川多鶴氏</b>  <b>NPO 法人 Fine 公認ピア・カウンセラー 安井幹子氏</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 不妊症・不育症カップルの心理や相談内容、ニーズ</li> <li>2. 医療者及び不妊ピア・カウンセラーによる不妊症・不育症カップルへの心理的支援、意思決定支援</li> <li>3. 里親・養子縁組を希望するカップルの心理や相談内容、ニーズ</li> <li>4. 里親・養子縁組を希望するカップルへの意思決定支援、親になるための支援</li> </ol> <p><b>受講される皆様へのメッセージ</b>          不妊症カップルを巡る社会情勢が日々変化する中、カップルの揺れ動く気持ちに寄り添いながら意思決定支援をすることはとても重要だと思います。不妊治療をしたからといって必ずしも妊娠・出産につながるわけではありません。そのため、治療を選択しない、あるいは治療を終結したあとの子どもをもたない選択、里親・養子縁組を行う選択など幅広い選択肢があることを、治療開始時から伝えていくことが</p>					

必要だと思えます。

カップルがカップルらしく生活できるように、そして、養子縁組をする子どもを含めた将来の子どもを守る視点をもって意思決定できるように、意見交換を通して支援のあり方を考えていきたいと思えます。

[参考図書等]

シンポジストのご講演の中でご紹介があります。